



語部門

文部大臣奨励賞

「愛知の万葉集の歌」

愛知県・愛知教育大学附属岡崎小学校六年 磯貝徳子

万葉集には、愛知県の地域で作られた作品もあるらしいと知り、舞台となった地域をめぐっていく力作です。写真付きレポート四十五枚のほかに、資料請求の手紙のやりとりなども、すべて整理されていて、その完成度は自由研究の作品の中では、他の追随を許しませんでした。

磯貝さんと万葉集との出会いは、社会科の時間で日本で一番古い歌集です」と習ったことから始まります。その時は、「万葉集には愛知県の歌はないだろう。」と思っていた磯貝さんですが、名古屋市の藤前千濁保存パンフレットに、「万葉集に歌われた千濁の一部です。」と書かれた一文を見つけ、磯貝さんの探

究心に火がついたようです。そこからの行動力は本当にすばらしく次のような手順で研究を進めています。

- 1 万葉集の全体の特徴
- 2 各市町村の教育委員会に手紙を出して問い合わせる
- 3 その土地の地名が入った万葉の歌はあるか？
- 4 歌の番号は？
- 5 風景はどこで見るのが一番良いか？
- 6 歌碑はあるか？ など

3 歌の意味を調べる。
4 現地へ行き、風景と、歌碑の写真を書く。
5 感想をまとめる。
自分で三脚を立て、やぶ蚊にささ

授賞式にて



れながらもがんばって撮った写真は、研究レポートをさらにひきたてていました。また、調べているうちにできた新たな疑問に対し、自分なりの推測をしつかり述べています。

研究の最後では、多くの資料を選んでいた方々に感謝のことばがしつかりと書かれており、研究は自分とてまぐいなる人たちの助けで初めてなりたつものだという磯貝さんの思いが高く評価されました。



※大人向けの難しい万葉集の本を見事に解説し、調べています



※磯貝さんが一番好きな歌の歌碑です
「桜田へ鶴鳴き渡る年魚市海
潮干にけらし鶴鳴き渡る
高市黒人」

子どもの文化・教育研究所 理事長賞

「ゴールに向けて」

—— ぼくとお母さんのマラソン ——

山梨県・玉穂町立三村小学校五年 嶋田修一郎

脳裏から「DIC」。

これが、今のお母さんの病状です。「きとくの状態です。80%は助かりません。」四月八日深夜、太学病院からの「お母さんが急変した。」という連絡。かけつけたICUの病床。ここで、ぼくとお父さんが聞いたのは、「おそろく、死んでしまうだろう。」という、お医者さんから、死の宣告でした。

しかし、ぼくのお母さんは、このすべての危機を、一つずつ乗り越えたのです。後い症として、お母さんは記憶が

社団法人日本児童文芸家協会 会長賞

「ホタルからのメッセージ」

愛知県・西尾市立室場小学校五年 近藤美宏

グループ別に調べたことを発表し合った後、六月二十三日、私たちのホタル学習の参観日を迎えた。この日の学習のテーマは「これからの平原の里にとって、本当大切なことって何だろう？」

私は話合いの司会、進行という大役を任せられていた。積極的な自分にな生まれ変わりたいという私の気持ちをよく知っている担任の山口先生が、私に大きなチャンスを与えてくださったのだと思った。先生の期待に応えよう。それに、このチャンスをのがしたら一度と、自分を変え

ることなかできないだろうと思っ

今日、シドニーオリンピックで、すばらしいニュースを聞くことができました。ぼくの大好きな高橋選手が、マラソンで金メダルを取ったの、切にしたいと、強い思いです。

お母さんは「二人で歩きたい。」という強い希望を持っています。ぼくは、これからお母さんと一緒に、リハビリ、最大限がんばります。「ありがとう」(抜粋)

※病気で苦しみながらも、精いっぱい生きるお母さんと家族の「負けないぞ」という声が、作文の中から聞こえてくるようです。

です。ゴールに向かって、走りぬけた選手たちの映像は、世界中の人に新鮮な感動を与えました。高橋選手はもちろん、選手のみならず、とてもすばらしかったです。

ぼくとお母さんにも、ゴールがあります。それは「社会復帰」。ぼくたちの前には、まだまだたくさんハードルが待ち構えていますと思えます。でも、ぼくは負けません。たくさんアップダウンを越え、やっとこまて来ることができました。お母さんは「二人で歩きたい。」という強い希望を持っています。ぼくは、これからお母さんと一緒に、リハビリ、最大限がんばります。「ありがとう」(抜粋)

ルが飛んだらというのは、地域の人たちの願いでもある。ホタルだって同じ。安心して住める環境の中で飛びたい。その願いが重なり合う日は、きつと来ると信じている。美しいホタルの光を絶やさず、守っていくことが、今私たちに与えられた役目。自然と共に仲よく生きながら、自然からのさまざまな恵みに感じやすくなる心や自分だけでなく他のものを大切に思う心を忘れないことが大切なんだね。ホタルの美しい光は、私だけだなく、私たち人間へのはげましのメッセージなんだと思った。(抜粋)

※総合学習の活動を通して、町の人々にインタビューをしたり、話し合いの司会進行という大役を務めたりしながら、自分が感じたことを力強い文章で書いています。

東京新聞賞

「まってるよ! ぼくのあたらしい家ぞく」
東京都 東京学芸大学教育学部附属小金井小学校 二年 永山智久

「らい年家^やく^くがあたらしくふえる
わよ」。

ぼくの気もちはとてもふくざつで
した。赤ちゃんが来たら、ぼくの用
じはふえるばかりに思えなし、ぼく
の話をきいてもらえないのではない
から、ふあんになったからです。

でも八月になってお母さんが入
ります。ことになってしまいました。
お父さんにりゆうをきいたら、

「うきすぎておなかの赤ちゃんが
ちよう子^こわ^わくなつたからだよ」
と、言われました。

これまでは、せわがやけるように
なつたらやだなあと思っていました。
でも今は、心から今苦しんでいるお
なかの中の赤ちゃんが、元気でいて
ほしい。生きつづけてほしい。と思っ
て、じん社に、おまいりに行きました。
た。そのかいがあつたのかお母さん
と、おなかの中の赤ちゃんは元氣に
なつて、たいいんできることになり
ました。

ぼくは今、おなかの赤ちゃんにむ
かつて、ぼくの大事な本をよんで
あげたりしています。(抜粋)

※気持ちの変化や心の動きが、よく
伝わってきます。

海外在住優秀者賞

これまでは、せわがやけるように
伝わってきます。

海外在住優秀者賞

「レゴGETだぜ」

チャンピオンシップの日の朝、お母さんが、

「ベスト6に入れたら、レゴをあげよう。」

と言ったので、ぼくはそれを聞いて、がんばるぞと思いました。

タイプして水の中に入った時、キツクの足がばらばらになてしまいました。ぼくはしまったと思いました。フライで、足をそろえてキックしないで、しつこくなつてしまっています。だからぼくは、しんぼんが見ていませんにように、と思いました。

おきおわつてすぐほかのレーンを見たら、ぼくは四番目にゴールしていません。きつとベスト6に入れたぞ。少しつと、スピーカーからレースのけつかがアナウンスされます。ぼくはスピーカーの回りをドキドキしながらうろつきました。

「四位、清水岳。」

と言ふアナウンスが聞こえて来ました。ぼくは、心がぼくはほするくらいうれしかったです。

おわつてから、四位のメダルと十位のリボンをもらいました。でも一番うれしかった事は、前からほしかったレゴをゲットできた事です。(抜粋)

※ほいしものをがんばつて手にした感動が素直に表現されています。

子どもの文化・教育研究所の先生方

筑波大学教授	谷川 彰英
広島県世羅町立世羅中学校校長	松尾 健史
元東京都杉並区立高井戸小学校校長	目賀田 八郎
宇都宮大学教授	奥井 智久
宇都宮大学教授	奥井 智久
東京都渋谷区立猿蓑小学校校長	角屋 重樹
東京大学名誉教授	木下邦太郎
東京大学名誉教授	高橋 景一
東京学芸大学教育学部附属 小金井小学校教頭	藤谷 立自
國學院大学栃木短期大学助教	山口 令司
東京都杉並区立和田小学校校長	横山 正
生活科	
元愛知教育大学教授	有田 和正
京都ノートルダム女子大学学長	梶田 觀一
京都ノートルダム女子大学教授	加藤 潔
愛知教育大学助教	寺本 昭
英語	
宮崎大学教授	影浦 攻
文化女子大学講師	久埜 百合
近畿大学教授	樋口 忠彦
バソコ	
慶應義塾普通部教諭	荒川 昭
山口県教育研修所研究指導主事	神村 信男
会津大学客員教授	藤原 洋
株インターネット総合研究所 代表取締役所長	
(敬称略・五十音順)	

「私の骨折日記」

子どもの文化・教育研究所理事長賞を理科部門で受賞した大島規代さん

中央出版株式会社社長賞を社会科
部門で受賞した太田英伶奈さん